DENTAL DIAMOND NEW BOOK



アリーハンドの II級窩洞CR充填。 30 printer technique (音・イラスト) 野亀慶訓 (岡山県・野亀歯科医院) (単版社 こちら)

マトリックスを使わないダイレクトボンディング! 自由自在なCR充塡で究極造形をめざそう

Ⅱ級窩洞では、間接法を選択するケースも多いですが、最近はCR充塡による直接法を選択する歯科医師が増えています。

その際、マトリックスの装着に苦労したり、賦形に手間取ることはないでしょうか。

本書で紹介する「3D printer technique」は、マトリックスを使用せず、

フリーハンドで臼歯部隣接面の充塡を可能にする画期的なテクニックです。

マイクロスコープ等の照明によりレジンの硬化反応を惹起して、

自由自在に積層造形を行うことが可能な超絶テクニックを誌上セミナーでぜひ習得してください。 著者自らが描いたイラストも必見です。

AB判・96頁・オールカラー 本体9.000円+税

Contents

CHAPTER 1 3D printer techniqueとは何か?

概要/II級窩洞充塡への応用/3D printer techniqueの課題 他

CHAPTER 2 3D printer techniqueの手順と必要な器具機材

ラバーダムと窩縁が近いケースでは圧排糸を挿入する 先に象牙質層を再現する 他

CHAPTER 3 3D printer techniqueを極めるコツ

______ マイクロスコープ照明の設定値を決めておく 流量による造形のコントロール 他 CHAPTER 4 3D printer_techniqueのトラブルシューティング

コンタクトしなかった コンタクトがきつすぎた 隣接歯とくっついた 気泡が入った 他

CHAPTER 5 3D printer techniqueを活かした症例集

症例 I (43歳・女性):部分矯正の補助装置を造形する

症例2 (56歳・男性):エンド隔壁を造形する

症例3 (63歳・女性):遊離端側の歯質欠損を造形する

症例4(35歳・女性):コンタクトより上、固有咬合縁を造形する 他

三橋 純 先生 (デンタルみつはし)

CR修復におけるブレイクスルーがここにある。 現代社会を支える技術である3Dブリンター。 それをCR修復に応用したのがこの方法である。 次世代のCR修復を学ぶすべての人が読むべき本である。

青島徹児 先生 (青島デンタルオフィス)

3D printer techniqueを初めて拝見したときは正直半信半疑で、 それほど綺麗に仕上がるものかと思っていました。

ただ実際に野亀先生のハンズオンを受講し、

このテクニックを実践したときは驚きを隠しきれず、

無心で歯牙の積層造形をしている自分がいました。

いままでにない斬新な発想のテクニックをまとめた無類の一冊!